

| | |
|------------------|---|
| Title | 編集後記 奥付 |
| Sub Title | |
| Author | 安川, 正彬 |
| Publisher | 慶應義塾経済学会 |
| Publication year | 1951 |
| Jtitle | 三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.44, No.12 (1951. 12) |
| JaLC DOI | |
| Abstract | |
| Notes | |
| Genre | Article |
| URL | https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19511201-0076 |

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

編集後記

○二〇世紀後半の第一年月が茲にその幕を閉じて、新なる第二年月、昭和二十七年を迎えんとしている。国際情勢はこの一年に益々緊迫の度を加えたが、しかしその渦の中にあつて吾々の周囲に起伏した忘れ得ぬ事柄の一、二を拾つてみることも無意味ではあるまい。

○その一は國連軍總司令官としてのマッカーサー元帥が突如解任されたことである。二は終戦以來の宿望であつた講和條約の締結されたことである。この國連軍總司令官の解任は日本人に多大の衝動を與えたことは疑いないが、それにも拘らず講和條約の締結が滞りなく行われ、先づ國內批准手續が完了したことは、戦後今日に至るまでの全期間を通じて日本人の誰しもが感得た最大の喜びであつた。しかし、それと同時に我國の益々多難なることも充分に認識されなければならぬ。この秋に當り講和問題を日本經濟の分析から論じられた伊東教授の勞作で巻頭を飾り得たことは極めて意義深いものがある。

○今秋、三田山上において權威ある日本經營學會、理論經濟學會、社會經濟史學會の三つの學會が相前後して開かれ、多くの研究發表討論等が活潑に行われ、學界に多大の貢獻をなし得たことは、主催校としてこの上ない喜びであつた。

○最後にこの夏學友松尾謙介君を失つたことは吾々にとつて唯一の悲しみであつたが、他面一年有餘病床にあつた増井健一、服部成三郎兩氏がこの度全快されて、本號より再び論壇に活躍されることになつたことは關係者一同の喜びである。

(安川正彬)

昭和二十六年十一月二十五日印刷 第四十四卷
昭和二十六年十二月一日發行 第十二號

禁 轉 載

編輯 東京都港區芝三田慶大經濟學部内
發行所 高 村 象 平
東京都港區芝三田豐岡町八
印刷者 川 口 芳 太 郎
印刷所 東京都港區芝三田豐岡町八
圖書印刷株式會社

豫約購讀料一年分 金八四〇圓(送料共)
半々年分 金四二〇圓()

豫約購讀料は發行所宛お拂込み下さい。
誌代變更の場合は精算決濟致します。
編集に關する用件、營業に關する用件、販賣
申込も發行所へ願います。

發行所

東京都港區芝三田三丁目
慶應義塾大學經濟學部研究室内
慶應義塾經濟學會
日本出版協會員B二二〇一六